秋田市立秋田南中学校校舎南棟解体電気設備工事

図　面　番　号	図　面　名　称	縮　　尺
E　－　1	電気設備工事仕様書	S＝NON
E　－　2	付近見取図,配置図,単線結線図	S＝1/1000,NON
E　－　3	校舎1,2,3,4階・屋上平面図,掘削断面図	S＝1/20,1/200
E　－　4	改修前・後1,2階平面図,掘削断面図,詳細平面図,参考立面図	S＝1/20,1/50,1/200
E　－　5	盤図,盤改造参考図	S＝NON
E　－　6	校舎1,2階平面図(南棟解体前・後/改修前・後),姿図	S＝1/200,1/300,NON
E　－　7	凍結防止ヒーター電源設備平面図、凍結防止ヒーター制御盤図	S＝1/200,NON
E　－　8	1,2階構内情報通信網設備平面図	S＝1/200
E　－　9	南棟平面図（１，２階）	S＝1/200
E　－　10	南棟平面図（３，４階）	S＝1/200
E　－　11	南棟平面図（PH階）	S＝1/200

秋田市役所建設部建築課

電　気　設　備　工　事　仕　様　書

Ⅰ　工事概要

1．工事場所　　秋田市南通宮田15番１号

2．建物概要

建　物　名	構　造	階　数	延床面積(㎡)	消防法の用途区分	備　考
秋田市立秋田南中学校					

3．耐震クラス　　建築設備機器　Ｓ

4．電気工作物　　●自家用電気工作物　　○一般用電気工作物

5．電気工事士　　●第一種電気工事士　　○第二種電気工事士　　○認定電気工事従事者　　○特殊電気工事資格者

6．電気料金他　　（１）電気料金　　●施工者負担　　○別途
上記料金の支払期間は、特記無き場合は受電した日から引き渡し日までとする。
（２）保安委託費　　●施工者負担　　○別途
上記料金の支払期間は、特記無き場合は受電した日から引き渡し日を含む月までとする。
（３）電話料金　　●施工者負担　　○別途
上記料金の支払期間は、特記無き場合は引込した日から引き渡し日までとする。

Ⅱ　一般事項

1．適用範囲
設計図書および質問回答書に記載してある事項以外は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編　最新版　以下、標準仕様書という）および公共建築設備工事標準図（電気設備工事編　最新版　以下、標準図という）による。

2．工事関係図書
標準仕様書　第１編１．１．３～１．２．４による他、下記による。
（１）提出書類について
指示なき以外は下記の書類を提出すること。
①着工前に提出する書類　・施工計画書　・実施工程表　・工事監理用白焼き２つ折製本　　部
・施工体系図　・資格証明書等の写し　・工事実績情報登録内容確認書（受注登録）
・機器・材料製造者選定届　・納入仕様書
・総合図　・施工図　・計算書
・工事前写真　・工事前試験結果報告書　・打合せ記録
②工事中に随時提出する書類　・施工計画書
・工事報告書（月１回）　・工事施工記録書（月１回）　・工事総合進捗表（月１回）
・工事進捗記録写真（月１回）　・工事施工進捗図（月１回）
・全体実施工程表　・週間、月間工程表　・作業日報
・施工体系図　・施工体制台帳
・使用資材報告書　・納入仕様書　・試験成績報告書
・総合図　・施工図
・工事写真　・試験結果報告書　・打合せ記録
・諸官庁届出書　・工事実績情報登録内容確認書（変更登録）
③下検査前に提出する書類　・工事完成届（指定用紙）　・建退共証紙貼付実績書および共済手帳の写し
・完成写真　・工事写真
・主要機器一覧表
・機器・材料製造者選定届　・納入仕様書
・試験結果報告書　・試験成績報告書
・社内検査報告書
・諸官庁届出書および許可書
・資格証明書等の写し
・廃材等の処分証明書（マニフェストＥ票の写し、許可証の写し、フローチャート等）
④完成検査前に提出する書類　・下検査指摘事項書
・同上是正報告書および是正写真
⑤完成検査後に提出する書類　・完成検査写真
・完成検査指摘事項書
・同上是正報告書および是正写真
・工事完成引渡書　・工事完成受領書
（２）工事写真について
国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方」および下記による。ただし、詳細については監督員の指示によるものとする。
・完成写真、資材検収写真（工種別、資材別、寸法、仕様銘版）
・工事写真、廃材処分写真（積込み、運搬、処分地搬入状況）
・試験写真（絶縁、接地、照度、試運転調整等）
・検査写真（中間検査写真、完成検査写真、官庁立会検査写真）

3．工事現場管理
標準仕様書　第１編１．３．１～１．３．１０による。

4．機器および材料
標準仕様書　第１編１．４．１～１．４．６による他、下記による。
本工事に使用する機器および材料は、Ⅵ　工事機材から選定し、速やかに機器・材料製造者選定届を提出すること。

5．施工
標準仕様書　第１編１．５．１～１．５．７による他、下記による。
（１）技能士の適用範囲は端末処理作業、後打ちアンカー作業、ケミカルアンカー作業とする。
（２）現場で溶接作業を行う溶接工はＪＩＳＺ３８０１に基づく（社）日本溶接協会の管溶接の資格を有する者とする。

6．試験
標準仕様書記載の試験および、監督員の指示するものとする。

7．工事検査および技術検査
標準仕様書　第１編１．６．１～１．１．６．２による他、「秋田市建設工事検査規程」による。

8．完成図等
標準仕様書　第１編１．７．１～１．１．７．３による他、下記による。
（１）完成図書類（標準仕様書および、監督員の指示による。）
●完成図書（電子納品）
●ＣＤ、ＤＶＤ（●竣工図　●施工図　●納入仕様書　●取扱説明書　●工事写真）　2部
●完成図書
○黒表紙製本　（○竣工図　○施工図　○納入仕様書　○取扱説明書）　部
●簡易製本　2部
●Ａ４版青焼き２つ折製本（●竣工図　●施工図　●整完成図）　2部
（２）附属品（予備品含む）
附属品（予備品含む）、保守工具は引継目録を添えて提出すること。また鍵・弁等に取り付ける名称札はプラスチック製とし、彫り込み文字とする。
予備品において、ヒューズ、避雷器類は、各盤ごとに現用品の２０％以上、また、種別ごとに１組以上を具備すること。

9．かし担保
かし担保は、工事請負契約書による。

10．その他
本工事に必要な各種申請手続等はすべて請負者において行うこと。

Ⅲ　共通事項

1．他業種との工事区分　　特記なき以外は下記は本工事とする。
（１）梁・床・壁貫通部のスリーブ
（２）壁埋込型器具類の仮枠
（３）天井埋込型器具類下地の墨出し
（４）軽量鉄骨（天井・壁とも）の機器取付け用の補強
（５）吊りボルト用インサート

2．スリーブ　　特記なき以外は外壁の地中部等の水密を要する部分は鋼付鋼管、その他は亜鉛めっき鋼板とする。

3．ハンドホール　　（１）特記なき以外はブロック型埋設表示板付とし、配管取付加工（ベルマウス、止水スリーブ等）を工場で行うこと。
（２）ハンドホール内ではケーブルに余長を設けること。
（３）蓋の表示は下記のとおりとする。
「電　」……一般電気設備　　「高圧」……高圧電力用設備
「電気」……電力用設備　　「弱電」……通信、電話用等

4．接地　　接地埋設標はステンレス製とし、文字、数値は刻印とする。

5．土工事関連　　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（建築工事編　最新版）第３章「土工事」による。

6．耐震施工　　設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針（国土交通省国土技術政策総合研究所監修）」による。

7．アンカー　　（１）機器固定のアンカーボルトの場合には、着工前に耐震計算書を提出すること。
（２）屋外に施工する場合はステンレス製とし、シーリングを確実に行うこと。

8．シーリング　　シーリング材は原則として変成シリコーン（ＭＳ－２程度）とし、シーリング材およびプライマーの選定および施工は国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（建築工事編　最新版）による。

9．再使用機器　　本工事に再使用機器を使用する場合は、取外清掃後正常に作動することを確認すること。

10．天井点検口　　特記なき以外は４５０×４５０、アルミ製、目地枠とする。

11．キュービクル　　特記なき以外は下記によるものとする。
（１）抵抗の測定が容易な構造とし、負荷接続用端子台を実装すること。
（２）変圧器の容量アップが可能な構造とすること。
（３）計器は広角型とする。
（４）導電部の接続部には、締付けの確認マークをつけること。ただし、制御回路および補助回路は除く。

12．盤類　　標準盤およびホーム分電盤はメーカー標準によるものとし、製作盤は下記によるものとする。
（１）扉のハンドル形状は監督員の指示によるものとし、２００番とする。ただし、シリンダー錠は３００番とする。
（２）圧着端子は丸型とし、制御回路等の配線には線番号を付けること。
（３）塗装は指定色焼付塗装とし、塗装色の指示なきは２．５Ｙ９／１とする。
（４）盤内扉の固定方法はワンタッチ式とし、ローレットビスおよびビス止め方式としないこと。
（５）天井裏まで予備の立上り配管（Ｅ２５×２＋Ｅ５１×２程度）を施工すること。詳細は監督員の指示による。

13．位置ボックス　　特記なき以外は４角中浅アウトレットボックスとする。

14．配線器具　　（１）特記なき以外は大角型とし、スイッチはネーム入り、プレートは新金属とする。
（２）コンセントの送り端子は使用しないこと。

15．２００Ｖ機器　　照明器具を含む２００Ｖ機器には両切りスイッチを使用し、接地線を施すこと。

16．ダウンライト　　特記なき以外は蛍光ランプと同色のランプとする。

17．拡声設備　　（１）マイクロホンの接続はキャノンタイプコネクターとする。
（２）非常用放送設備の性能基準の部分については、着工前に計算書、着工後に音圧測定結果報告書を提出すること。

18．テレビ共同受信設備　　アンテナマストは耐風速６０（ｍ/ｓ）以上とし、着工前に計算書を提出すること。

19．避雷設備　　支持管は耐風速６０（ｍ/ｓ）以上とし、着工前に計算書を提出すること。

20．屋外等の仕様　　屋外および地下ピットに用いる支持金具、ボルト、ナット、ビス類はすべてステンレス製もしくは溶融亜鉛メッキ製とする。
また、ステンレス製電線管は厚鋼ねじなし、つや無し仕上とする。

21．配管等の塗装　　特記なき以外は露出配管、露出ボックス、支持金物は指定色で塗装すること。また、屋外の露出ボックス等は指定色で焼付塗装すること。

22．保温・結露防止　　外部に面する壁および天井で、発泡プラスチック保温材の打ち込み個所に取り付ける位置ボックス等は保温、結露防止処理をすること。また、水廻りおよび屋上階の床への打込配管は避けること。

23．ケーブル保護　　ケーブル工事において配線の立上がり・立下がりは電線管で保護すること。

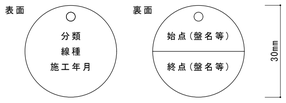
24．二重天井内配線　　ケーブル工事において二重天井内配線はケーブル支持配線とする。

25．導入線の挿入　　本工事で使用しない新設配管には導入線（ＥＭ－ＩＥ１．６）を挿入すること。

26．機器等の表示　　（１）盤内の制御機器（サーモ、タイマー等）には、系統名称を記入すること。
（２）電灯のジョイントボックスおよびコンセントには盤名称、回路番号を表示すること。
（３）発電機回路の場合、プレート、二重床用ケーブル接続器および二重床用テーブルタップには、一般電源回路と区別がつくよう回路種別の表示をすること。

27．ケーブルマーク　　特記なき以外は下記によるものとし、詳細は監督員の指示による。
（１）プラスチック製　彫刻文字　ビニール被覆結束紐付
盤、プルボックス、ハンドホール内およびケーブルの防火区画貫通部の前後、ケーブルラック上のケーブル３０ｍ以下毎に取付けること。
表面に分類（電灯幹線等）と線種および施工年月、裏面に始点と終点（盤名等）を記すこと。
用途別のケーブルマークの色別は下記のとおりとする。

分　類	地　色	文字色
高　圧	赤	黒
電　灯	白	黒
動　力	青	白
弱　電	黄	黒
火　報	橙	黒



（２）ファイバー製　シール文字　結束紐付
電灯分電盤の各回路に取付けること。
地色は白、文字色は黒、表面に回路番号と負荷名称、裏面に線種を記すこと。

Ⅳ　仮設工事

1．現場事務所　　●有り　　○無し

2．工事電力および用水　　工事用電力　構内既存施設　　○利用できない　　●利用できる（有償）
工事用水　構内既存施設　　○利用できない　　●利用できる（有償）

3．工事表示板の設置　　監督員が指定する位置に一箇所設置する。
表示時期は工事着工時から完成時までとする。
表示板の形式

建　築　工　事　の　表　示	
工　事　名　称	工事名称
構　造　規　模	構造規模（設備のみの工事では省略）
工　事　期　間	平成○○年○○月○○日　～　平成○○年○○月○○日
建　築　主	秋田市長　○○○○
設　計　者	秋田市建設部建築課
工事監督者	秋田市建設部建築課　電気設備担当　TEL018-866-2136
工事施工者	○○○○○○○○○　○○○○　TEL000-000-0000

（１）表示板は、風圧に耐えるよう配慮すること。
（２）地色は、マンセル記号１ＧＹ７．５／８とし黒文字（角ゴシック）で表現する。
（３）表示板の大きさ
●１号　（横　180cm×縦　90cm）　○２号　（横　240cm×縦　120cm）
○３号　（横　360cm×縦　180cm）　○その他　（横　90cm×縦　60cm）

4．その他　　（１）建設リサイクル法の対象の場合は、同法遵守指導としての「届出(通知)済シール」を建設業許可標識に貼り付けること。
（２）建設業退職金共済制度の対象の場合は、「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場標識」の掲示をすること。

Ⅴ　機器取付高さ

機器取付高さは下表を標準とするが、現場の状況に応じて監督員と協議すること。

	名　称	測　点	取　付　高　（ｍｍ）
幹線	取引用計器	床　上～窓中心	１,３００
	引き込み用開閉器	床　上～中　心	１,３００
	警報盤	床　上～中　心	１,５００
	分電盤	床　上～中　心（床上～上端）	１,５００（１,９００以下）
電灯	スイッチ　（一　般　用）	床　上～中　心	１,３００
	スイッチ　（和　室　用）	〃	１,２００
	スイッチ　（パリアフリー）	〃	３５０～１,２００
	コンセント　（一　般　用）	〃	３００
	コンセント　（和　室　用）	〃	２００
	コンセント　（パリアフリー）	〃	３５０～　４００
	コンセント　（台　上　）	台　上～下　端	１５０
	コンセント　（機械室等）	床　上～中　心	６００～１,０００
	ブラケット　（一　般　用）	〃	２,１００～
	ブラケット　（階段踊場）	〃	２,５００～
	ブラケット　（ミラー）	鏡上端～中　心	１５０
灯	非難口誘導灯	床　上～下　端	１,５００以上
	通路誘導灯	床　上～上　端	１,０００以下
動力	制御盤　（壁　掛　型）	床　上～中　心（床上～上端）	１,５００（１,９００）以下
	手元開閉器	床　上～中　心	１,５００
	操作スイッチ	〃	１,３００
電話	集合保安器盤	天　井～上　端	２００
	端子盤　（廊下、室内）	床　上～下　端	３００
	壁付アウトレット　（一　般　用）	床　上～中　心	３００
	壁付アウトレット　（和　室　用）	〃	１５０
時計	壁掛型時計	〃	１,５００
	壁付子時計	〃	天井高×０．８～０．９（体育館は別途）
拡声	壁掛型スピーカー	〃	天井高×０．８～０．９
	壁付アッテネーター	〃	１,３００
呼出表示	表示盤	〃	天井高×０．９
	壁付発信機	〃	１,３００
	ベル、ブザー、チャイム	〃	天井高×０．９
	壁付押ボタン　（一　般　用）	〃	１,３００
	壁付押ボタン　（パリアフリー）	〃	３５０～１,２００
	壁付インターホン　（一　般　用）	床　上～中　心	１,３００
	壁付インターホン　（パリアフリー）	〃	３５０～１,２００
	壁付アウトレット　（一　般　用）	〃	３００
	壁付アウトレット　（和　室　用）	〃	２００
テレビ	機器収容箱	天　井～上　端	２００
レピ	直列ユニット　（一　般　用）	床　上～中　心	３００
	直列ユニット　（和　室　用）	〃	２００

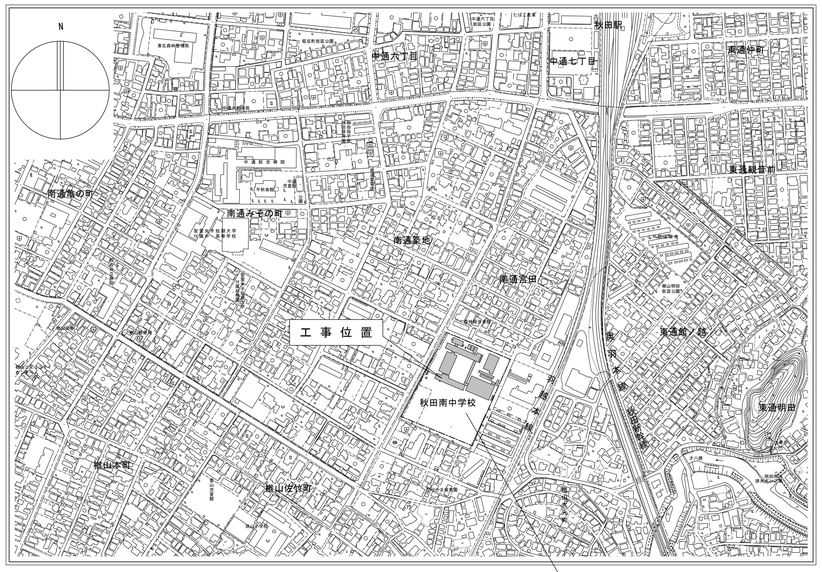
Ⅵ　工事機材

本工事に使用する機器および材料は、下記の製造業者の中から選定すること。ただし、記載されていない　品目、製造業者および同等品等については事前に書類を提出し、監督員の承諾を得ること。
完成図書の納入にあたっては、電子納品に対応すること。

電線・ケーブル	ＪＩＳマーク表示品
耐火・耐熱ケーブル	（社）日本電線工業会規格適合品、準拠品
通信用ケーブル	（社）日本電線工業会規格適合品、準拠品
電線管・電線管付属品	ＪＩＳマーク表示品
波付硬質合成樹脂管	ＪＩＳマーク表示品
プルボックス	国土交通省仕様
照明器具	ＪＩＳマーク表示品
ＨＩＤ灯	ＪＩＳマーク表示品
非常用照明器具	（社）日本照明器具工業会規格適合品
誘導灯器具	（社）日本電気協会誘導灯認定委員会認定品
配線器具	ＪＩＳマーク表示品
製作盤	東和、山形、かわでん、古川
標準盤	日東、パナソニック、テンパール
ホーム分電盤	（社）日本配線器具工業会住宅用分電盤規格適合品
配線用遮断器	三菱、富士、パナソニック、東芝、日立、テンパール、日幸、戸上、日東、寺崎
電磁開閉器	三菱、富士、パナソニック、東芝、日立、戸上、安川、春日
計器、継電器等	ＪＩＳマーク表示品
高圧負荷開閉器	戸上、三菱、富士、東芝、エナジーサポート、日本高圧
高圧遮断器	三菱、富士、明電舎、日立、愛知、東芝、安川、戸上
変圧器	三菱、富士、明電舎、日立、愛知、東芝、安川、ダイヘン、高岳、利昌
進相コンデンサ	三菱、ニチコン、指月、東芝、日新、利昌
直列リアクトル	三菱、ニチコン、指月、東芝、日新、利昌
発電機	三菱、富士、明電舎、川崎、東芝、西芝、安川
蓄電池	ＧＳユアサ、古河、パナソニック
電気時計	シチズン、パナソニック、セイコー
拡声装置	ビクター、パナソニック、ＴＯＡ
テレビ共同受信	ＤＸ、マスプロ、八木
インターホン	アイホン、パナソニック、東芝
電話交換装置・電話機	日立、富士通、ＮＥＣ、東芝、岩崎、ＮＴＴ
火災報知機	能美、ホーチキ、パナソニック、ニッタン
避雷針	国土交通省仕様
ハンドホール	コンクリート製品でのＪＩＳ認定工場
ハンドホールの蓋	国土交通省仕様
パネルヒーター	日本シーズ線、インターセントラル
遠赤外線ヒーター	日本シーズ線、インターセントラル、日精オーバル
ロードヒーター	三菱、富士古河、北日本
防火区画貫通処理材	国土交通大臣認定品

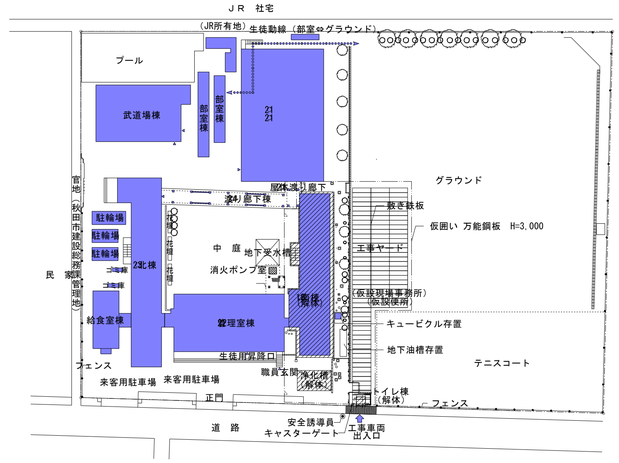
秋田市建設部建築課	件名	秋田市立秋田南中学校校舎南棟解体電気設備工事						種別	電気設備工事仕様書	特記
	課長		参事		設計			縮尺	NON	
								設計年月日	H27．6	年度 H27

11 枚ノ内　図面番号 1　区分 E

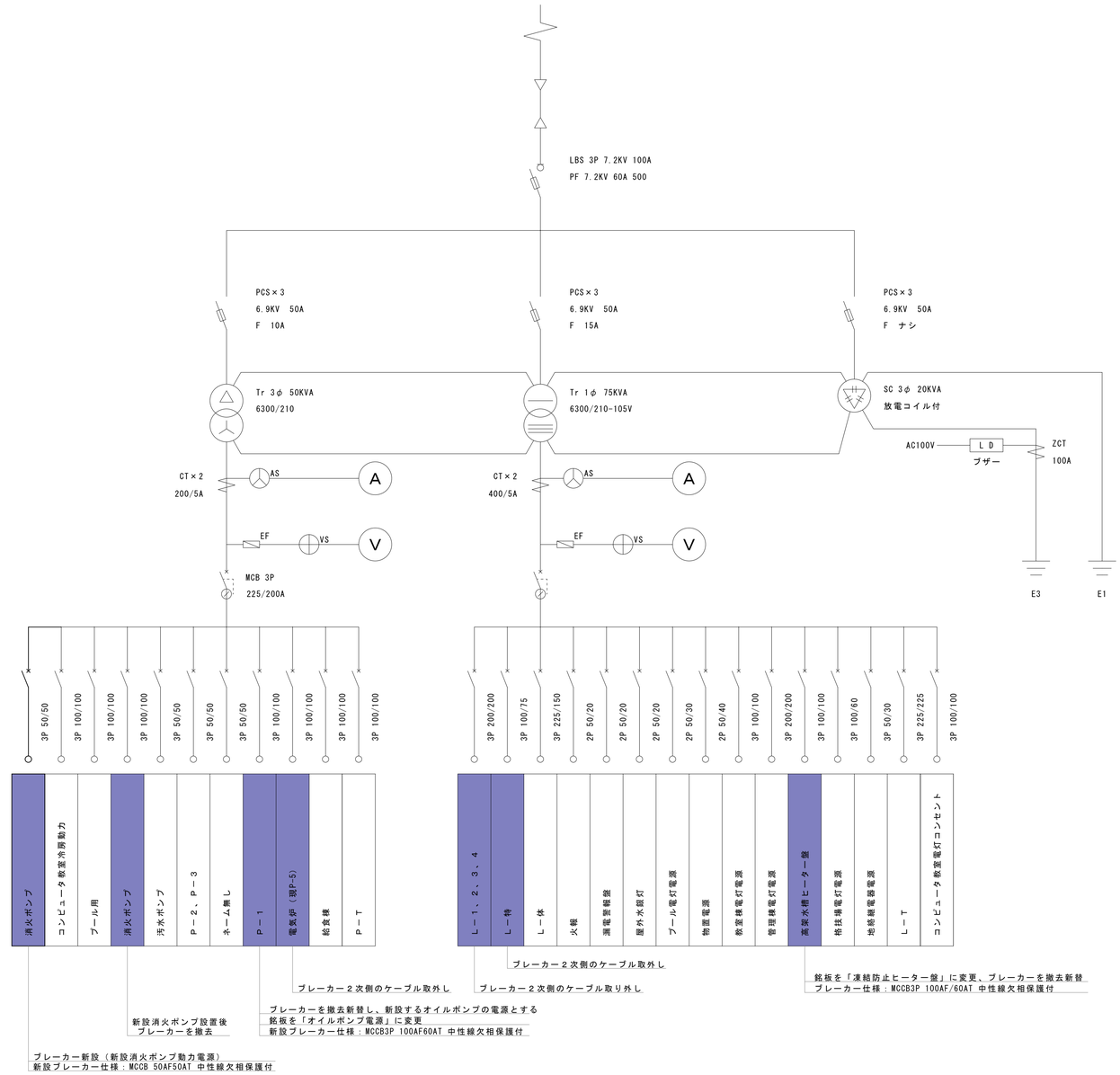


工事場所：秋田市南通宮田１５番１号

付近見取図 S=NON



配置図 S=1/1000



単線結線図

工事概要
本工事は、秋田市立秋田南中学校南棟の解体に伴う電気設備工事である。

○校舎南棟に設置されている電気設備を撤去・処分すること。

○照明器具はPCBの有無を調査し、PCBが使われている安定器があった場合は監督員に相談すること。

○蛍光灯はリサイクル処分とする。

○高架水槽ヒーター盤用ブレーカーを新替し、銘板を凍結防止ヒーター盤電源に変更すること。

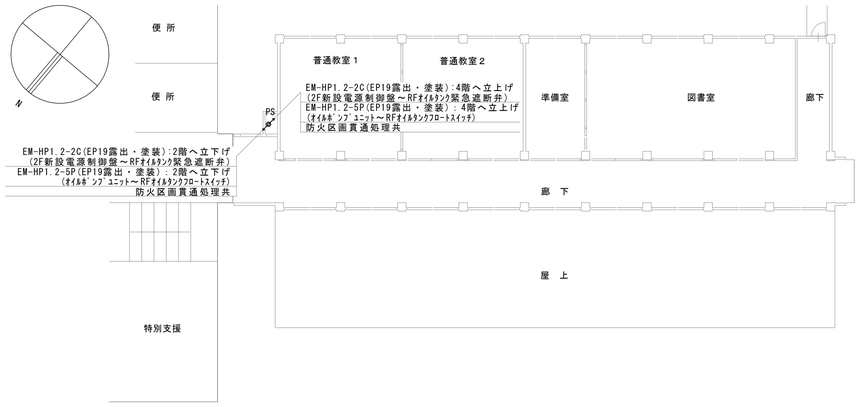
○南棟解体後、機械設備工事にて設置するオイルポンプユニットへ既設キュービクルより動力電源を送ること。

○キュービクルから既設予備管を流用し機械設備工事で設置する消火ポンプユニットまで動力電源を送り、既設消火ポンプ撤去後に既設消火ポンプ電源線を撤去する。

○既存幹線撤去、キュービクル内ブレーカー撤去新替に伴う停電作業の日程は、中学校、教育委員会ならびに監督員と十分に協議した上で決定すること。

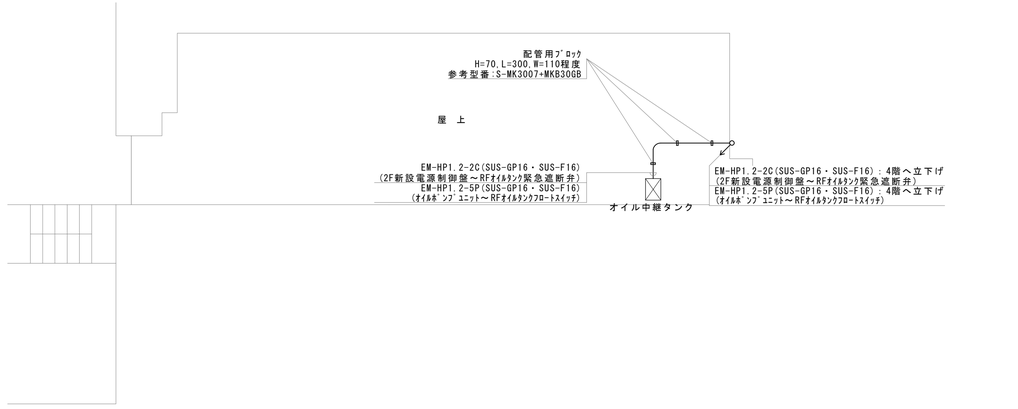
○南棟解体に伴う警戒区域図の変更を行うこと。

秋田市建設部建築課	件名	秋田市立秋田南中学校校舎南棟解体電気設備工事			種別	付近見取図,配置図,単線結線図	特記	11 枚／内 2 図面番号
	課長		参事	設計	縮尺	S=1/1000,NON		区分 E
					設計年月日	H27. 6 年度 H27		



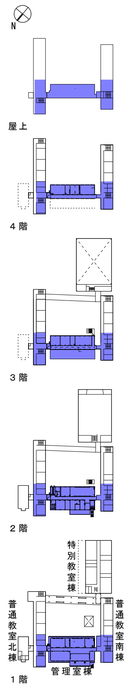
図示の配管、配線を新設すること。

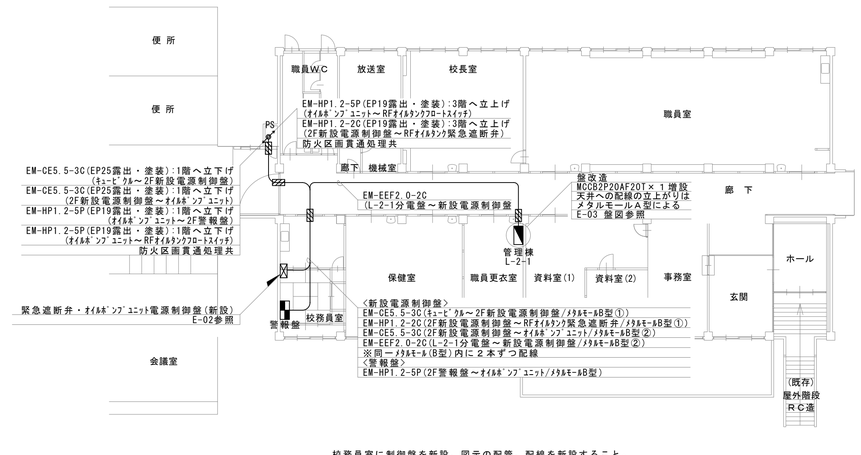
校舎３階平面図 S=1/200



図示の配管、配線、配管用ﾌﾞﾛｯｸを新設すること。

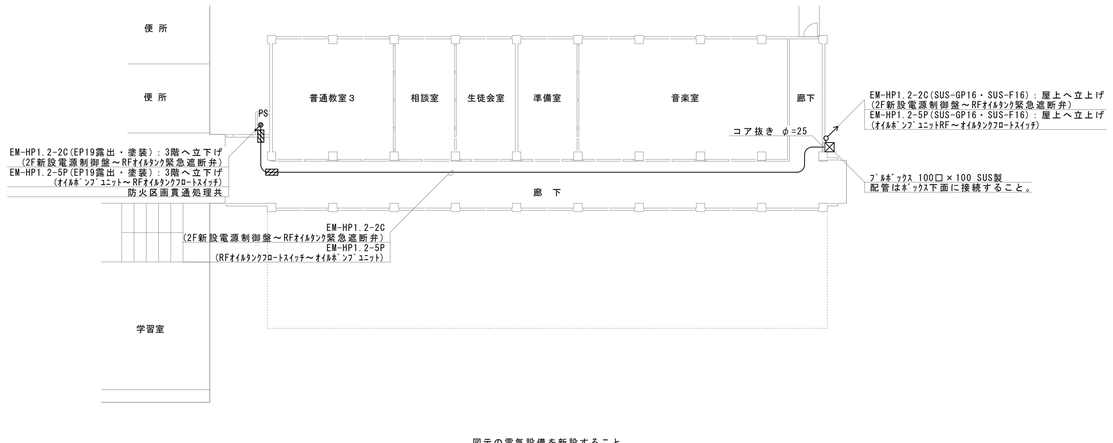
校舎屋上平面図 S=1/200





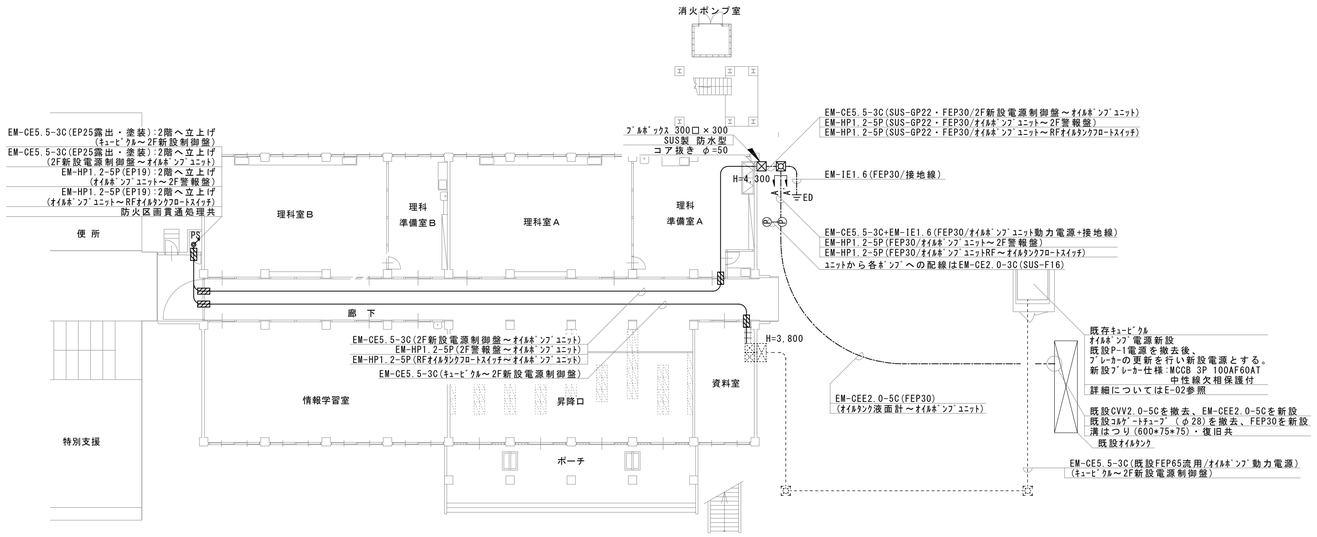
校務員室に制御盤を新設、図示の配管、配線を新設すること。

校舎２階平面図 S=1/200



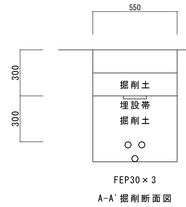
図示の電気設備を新設すること。

校舎４階平面図 S=1/200



図示の電気設備を新設すること。

校舎１階平面図 S=1/200



掘削断面図 S=1/20

工事概要

・校舎南棟解体後に動力幹線（オイルポンプ）を新設する。
・機械設備工事で新設するオイルポンプ用の警報線を２階校務員室内警報盤まで敷設すること。
・オイルポンプユニットから管理棟屋上に設置されるオイルタンクのフロートスイッチまで信号線を設置すること。
・２階校務員室内に緊急遮断弁・オイルポンプ電源制御盤を新設し、緊急遮断弁とオイルポンプユニットまで電源線を新設すること。
・既設オイルタンク内液面計から新設オイルポンプユニットまで信号線を送ること。

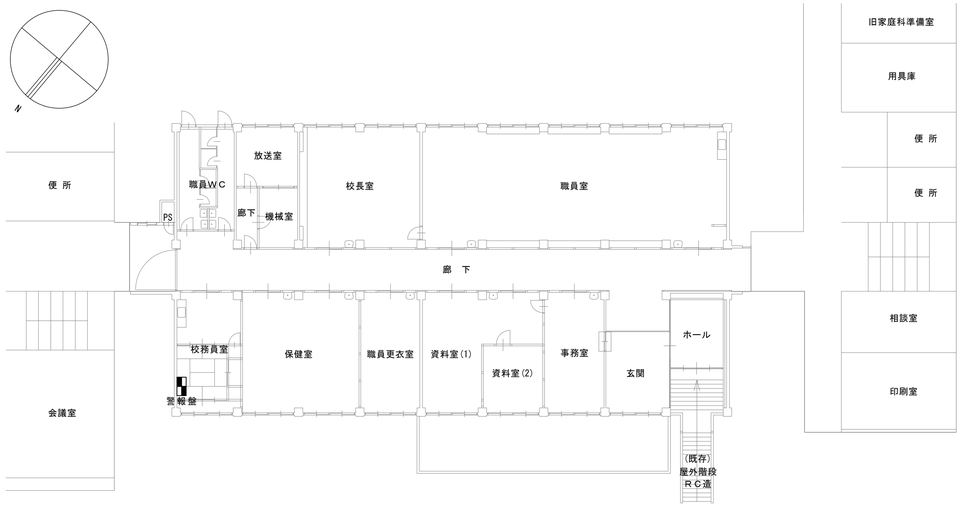
・掘削、埋戻しは機械掘削とし、発生残土は構内敷均しとする。
・掘削経路には既存の配管や側溝が設置されているため、既設物を破損しないよう注意して掘削し、生徒、教職員、学校関係者の安全を第一に行うこと。

・停電の日程は中学校、教育委員会、監督員等と十分に協議し、授業等に支障のない時間に行うこと。

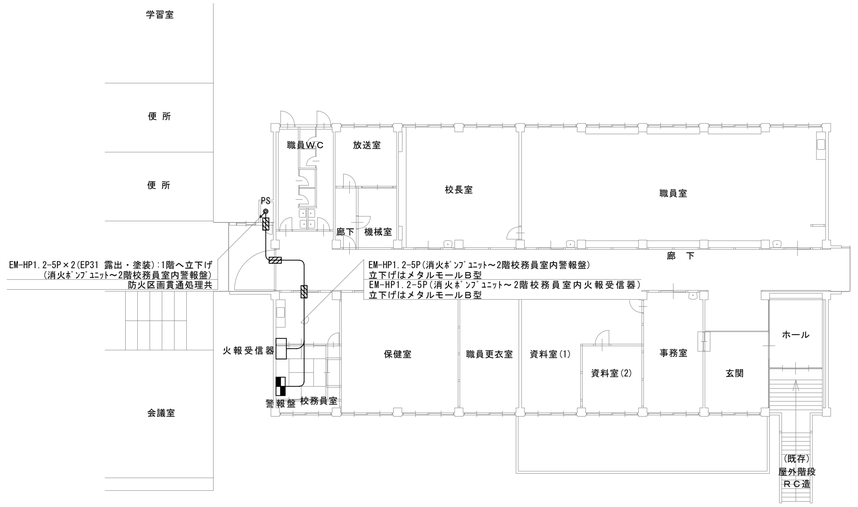
設備凡例

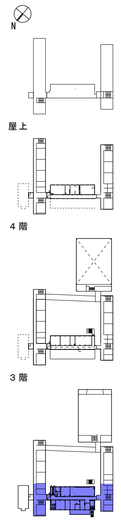
記　号	名　　称	備　　考
	既設ハンドホール H1-6	流用
	既設配線用ダクト・ラック H=3,800	流用
	既設プルボックス 600口×600×2個	流用
	既設ケーブルラック	流用
	オイルポンプ（ユニット共）	機械設備工事で設置 配線接続は本工事
	既設警報盤	存置
ED	Ｄ種接地工事　銅棒連結	新設
	ハンドホール H1-6 中耐蓋付	新設
	防火区画貫通処理	新設
	立上げ/立下がり	新設
	立上げ/立下がり（防火区画貫通処理共）	新設
	素通し（防火区画貫通処理共）	新設
----------	既設配管	流用
————	新設配管・配線	新設
——-—-	新設埋設配管・配線	新設

秋田市建設部建築課	件名	秋田市立秋田南中学校校舎南棟解体電気設備工事						種別	校舎１、２、３、４階・屋上平面図 掘削断面図	特記	図面番号 3 11 枚ノ内 区分 E
	課長		参事		設計			縮尺	S=1/20,1/200		
								設計年月日	H27. 6　年度 H27		



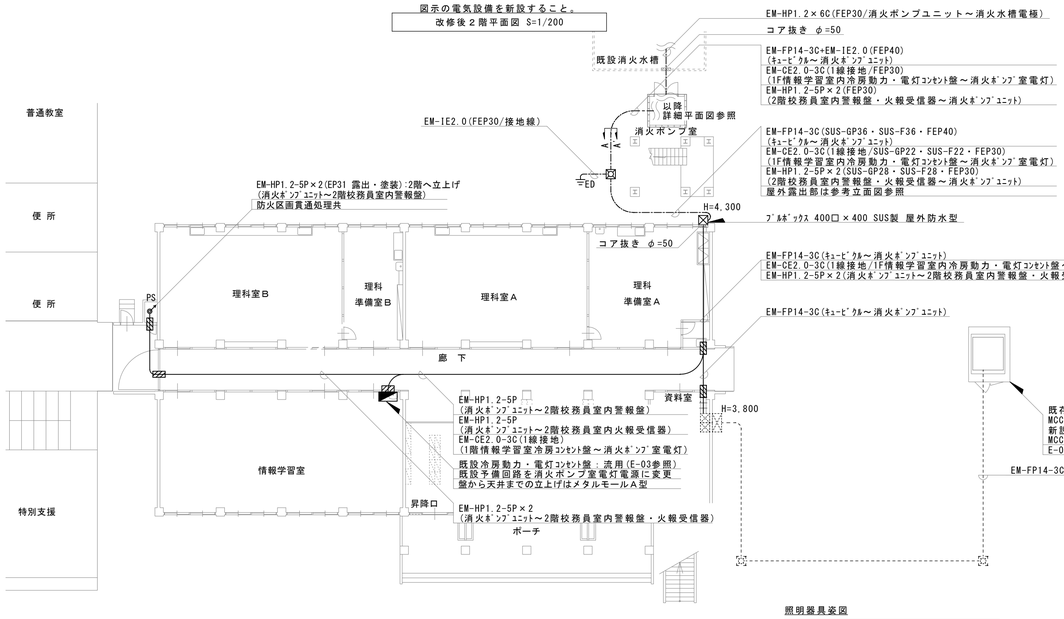
改修前２階平面図 S=1/200

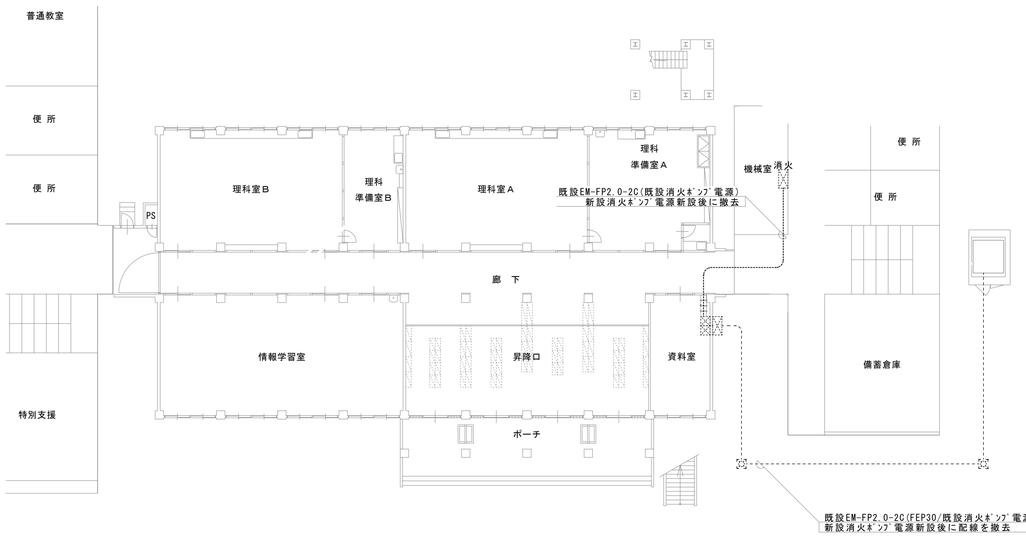




■は図面範囲を示す。

図示の電気設備を新設すること。
改修後２階平面図 S=1/200





既設消火ポンプ電源は新設消火ポンプ電源設置後に撤去・処分すること。
改修前１階平面図 S=1/200

図示の電気設備を新設すること。
改修後１階平面図 S=1/200

照明器具姿図

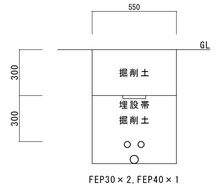
FHF16W×1 逆富士 防湿・防雨型
FHF16W×1 防湿・防雨型 参考型番：FSW21001A

工事概要

・動力幹線（消火ポンプ）を新設し、その後既存消火ポンプ盤とその配線を撤去する。
・機械設備工事で新設する消火ポンプ用の警報線を２階校務員室内警報盤まで敷設すること。

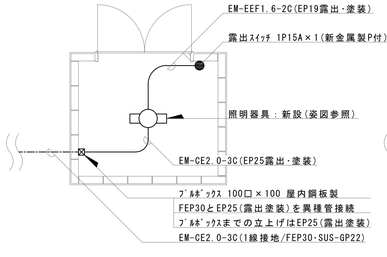
・掘削、埋戻しは機械掘削とし、発生残土は構内敷均しとする。
・掘削経路には既存の配管や側溝が設置されているため、既設物を破損しないよう注意して掘削し、生徒、教職員、学校関係者の安全を第一に行うこと。

・停電の日程は中学校、教育委員会、監督員等と十分に協議し、授業等に支障のない時間に行うこと。

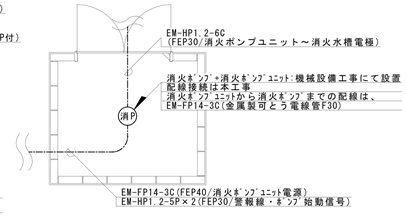


A-A'掘削断面図

掘削断面図 S=1/20

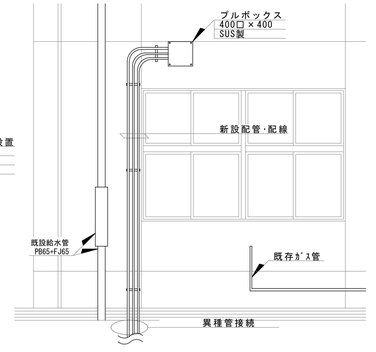


消火ポンプ室（電灯設備）



消火ポンプ室（動力・警報設備）

消火ポンプ室詳細平面図 S=1/50



管理室棟南東側露出配管参考立面図 S=1/50

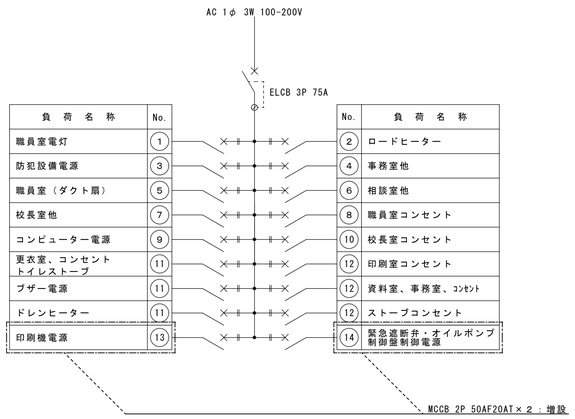
設備凡例

記　号	名　称	備　考
	既設ハンドホール H1-6	流用
	既設配線用ダクト・ラック H=3,800	流用
	既設ブルボックス 600□×600×2個	流用
	既設ケーブルラック	流用
消P	消火ポンプ（ユニット共）	機械設備工事で設置 配線接続は本工事
	既設警報盤	存置
ED	D種接地工事　銅棒連結	新設
	ハンドホール H1-6 中耐蓋付	新設
	防火区画貫通処理	新設
	立上げ/立下がり（防火区画貫通処理共）	新設
----------	既設配管	
———	新設配管・配線	新設
——-—-	新設埋設配管・配線	新設

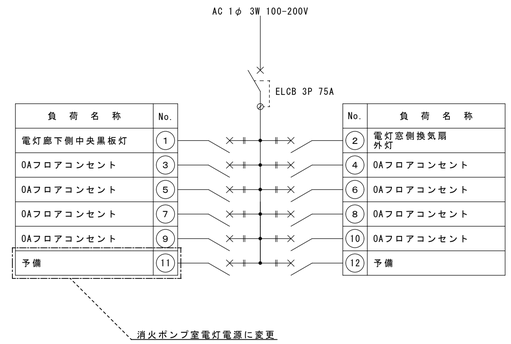
秋田市建設部建築課	件名	秋田市立秋田南中学校校舎南棟解体電気設備工事						種別	改修前・後１、２階平面図、掘削断面図 詳細平面図、参考立面図		
	課長		参事		設計			縮尺	S=1/20,1/50,1/200,		
								設計年月日	H27. 6	年度	H27

特記
ブルボックス（屋内鋼板製）は指定色塗装とする。

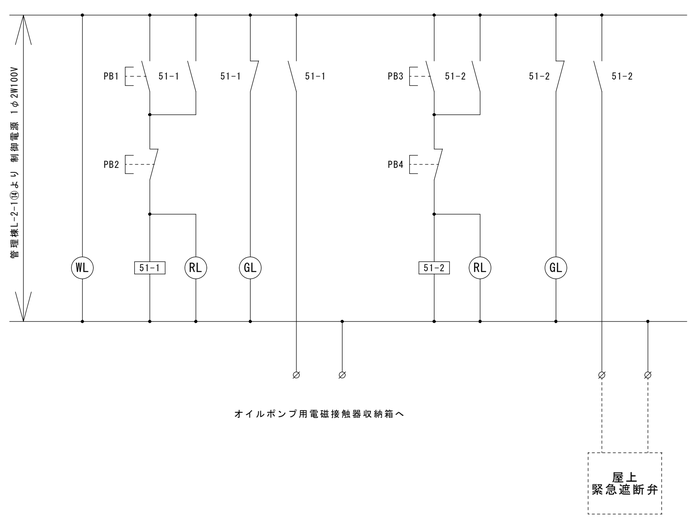
11	図面番号	4
枚ノ内		
区分	E	

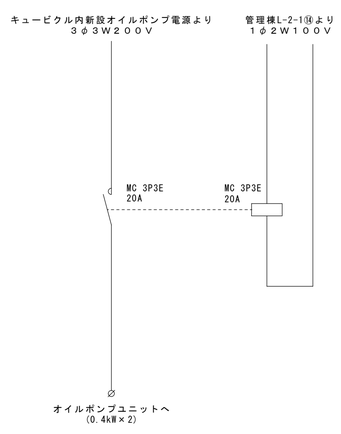


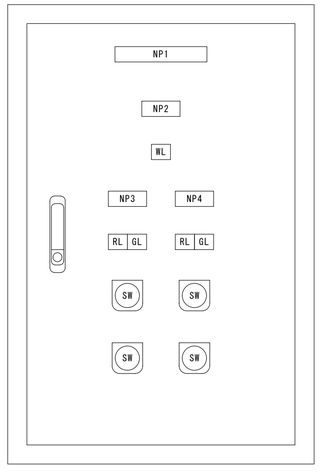
L-2-2盤改造参考図 S=NON



冷房動力・電灯コンセント盤改造参考図 S=NON







〈緊急遮断弁・オイルポンプ操作盤仕様〉

・指定色焼付塗装
・扉内鋼板製 一露出型
・図面ホルダー付

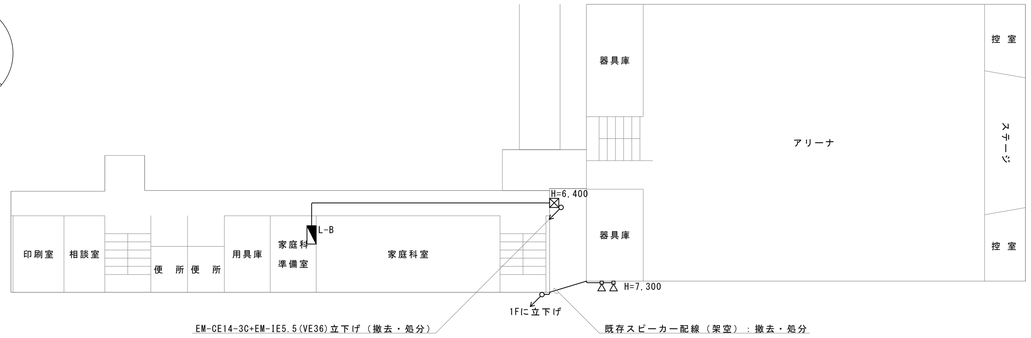
NP1：緊急遮断弁・オイルポンプ操作盤
NP2：電源
NP3：緊急遮断弁電源
NP4：オイルポンプ電源

緊急遮断弁・ｵｲﾙﾎﾟﾝﾌﾟ電源制御盤図 S=NON

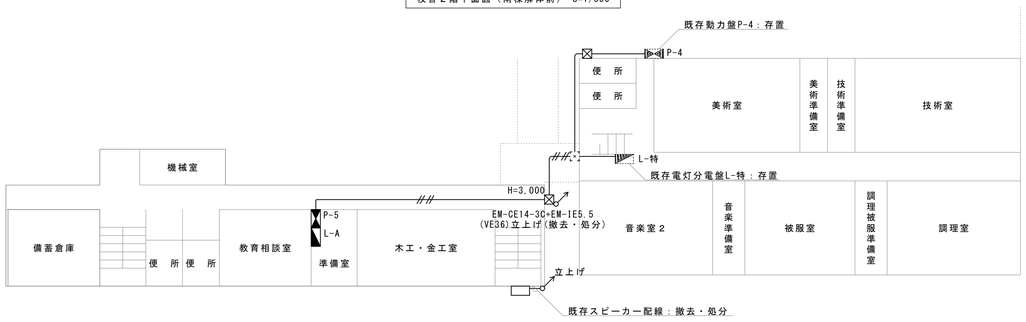
秋田市建設部建築課	件名	秋田市立秋田南中学校校舎南棟解体電気設備工事						種別	盤図、盤改造参考図		
	課長		参事		設計			縮尺	S=NON		
								設計年月日	H27. 6	年度	H27

特記

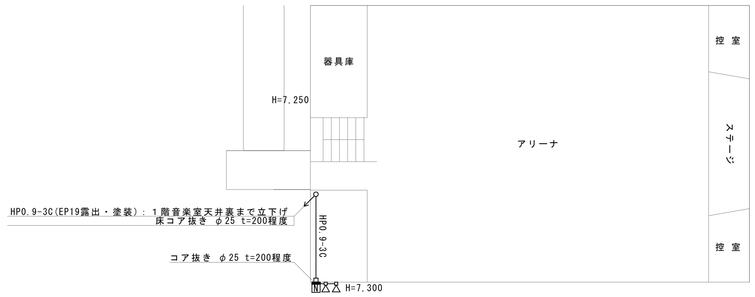
11	図面番号	5	
枚ノ内			
区分	E		



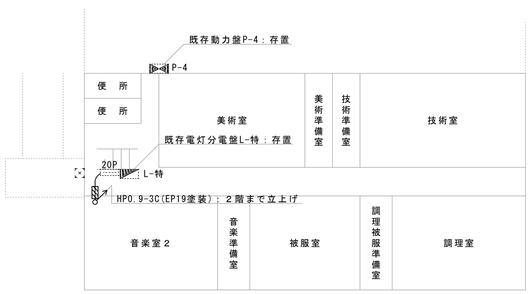
図示の電気設備を撤去すること。
校舎２階平面図（南棟解体前） S=1/300



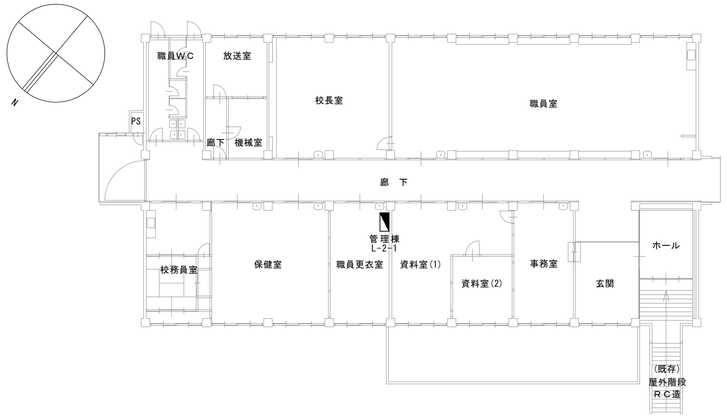
図示の電気設備を撤去すること。
校舎１階平面図（南棟解体前） S=1/300



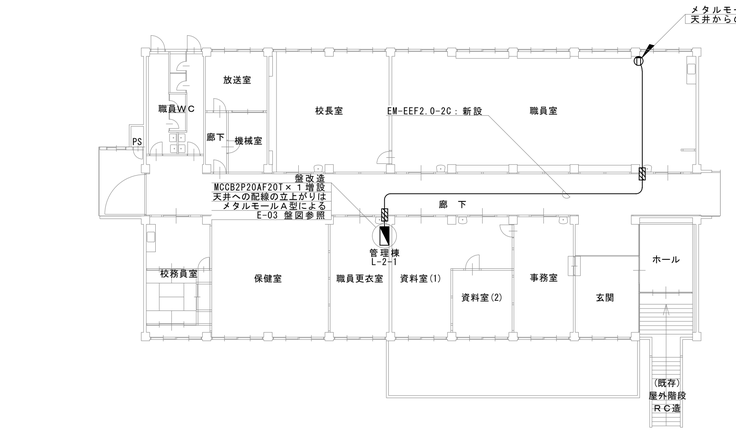
図示の電気設備を新設すること。
校舎２階平面図（南棟解体後） S=1/300



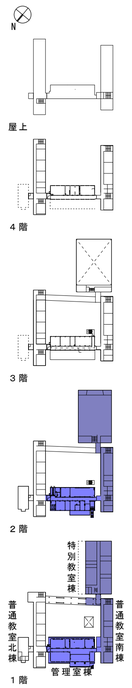
図示の電気設備を新設すること。
校舎１階平面図（南棟解体後） S=1/300



改修前２階平面図 S=1/200



図示の電気設備を新設すること。
改修後２階平面図 S=1/200

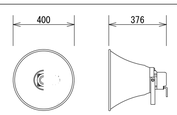


■は図面範囲を示す。

工事概要
<拡声設備>
・秋田市立秋田南中学校校舎南棟の解体に伴い、特別教室棟-南棟間を通る配線等の撤去、拡声設備用配線の切りまわし、ホーンスピーカーの撤去新替を行うもの。
・キュービクルからL-特、P-4までの配管配線は存置とし、L-特、P-4の２次側の配管配線を撤去すること。
・特別教室棟西側に設置されているホーンスピーカーを撤去新替すること。
<コンセント設備>
・管理棟L-2-1盤を改造し、職員室印刷機用電源を設け、職員室内にメタルモールコンセントを１個増設する。

姿図

レフレックスホーンスピーカー



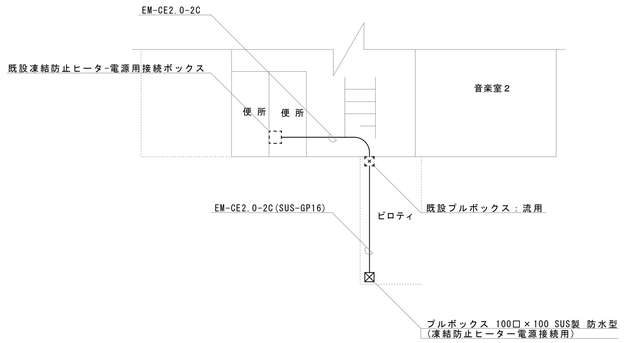
L級

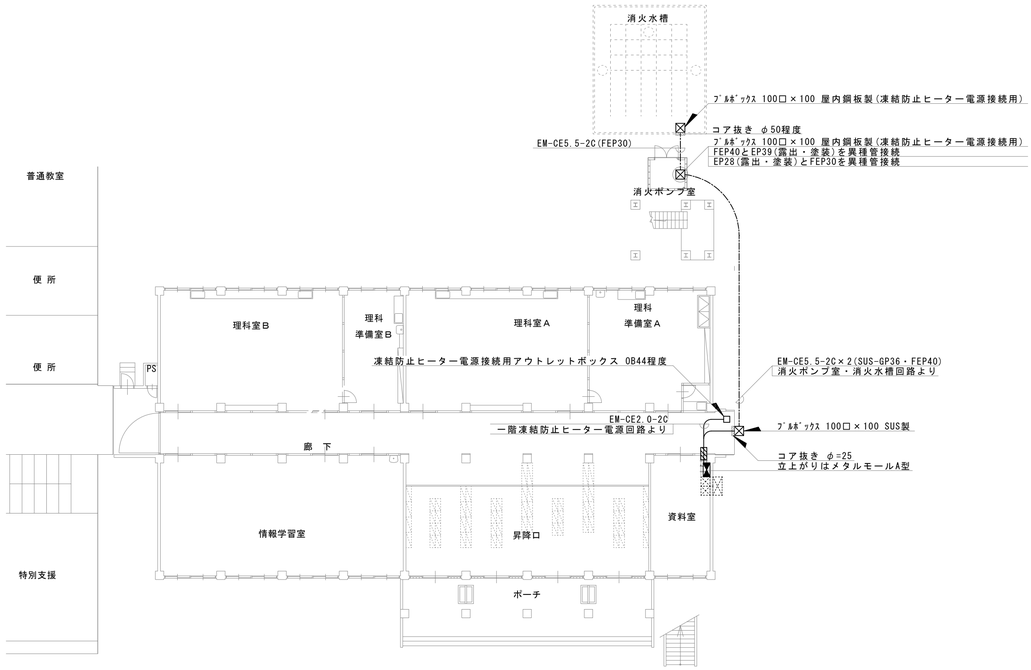
定格入力	15W
出力音圧レベル	110dB/W(1m)
周波数特性	250Hz～7kHz
入力インピーダンス	67Ω(15W),1kΩ(10W),2kΩ(5W),3.3kΩ(3W)
防塵・防水性能	IP65準拠(JIS C 0920-2003)
質 量	3.2kg

設備凡例

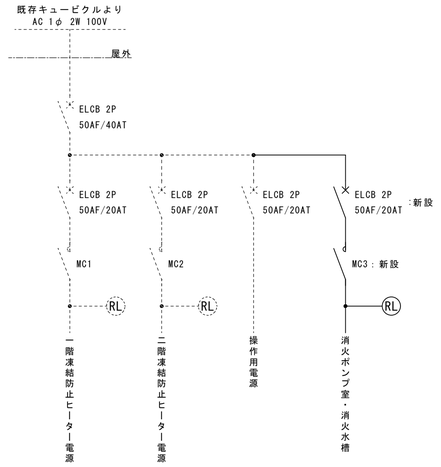
記 号	名 称	備 考
L-A	既存ホーム分電盤 L-A	撤去・処分
L-B	既存ホーム分電盤 L-B	撤去・処分
P-5	既存動力盤 P-5 屋内壁掛型	撤去・処分
	既存手元開閉器盤（特別教室棟ホーンスピーカー用）	撤去・処分
	既存プルボックス	撤去・処分
	既存プルボックス 400□×400 (新替仕様：400□×400 SUS製 防水型)	撤去・新替
	アウトレットボックス	新設
N	防雨入線カバー	新設
	既存ホーンスピーカー	撤去・新替 (姿図参照)
	立上げ・立下がり	撤去・処分
	防火区画貫通処理	新設
L-特	既存電灯分電盤 L-特	存置
P-4	既存動力盤 P-4	存置
20P	既存端子盤	存置
	既存ハンドホール	存置
	EM-CE14-3C+EM-IE5.5(屋外露出部はVE36で保護)	撤去・処分
	EM-CE14-3C+EM-IE5.5(屋外露出部はVE36で保護)×２	撤去・処分
HP0.9-3C	EM-HP0.9-3C (屋外露出部:SUS-GP16/SUS-F16,屋内隠ぺい部:PF16)	新設
	既存埋設配管・配線	存置
	既存配管・配線	存置

秋田市建設部建築課	件名	秋田市立秋田南中学校校舎南棟解体電気設備工事						種別	校舎１，２階平面図（南棟解体前・後/改修前・後） 姿図	特記	11 枚ノ内 / 図面番号 6
	課長		参事		設計			縮尺	S=1/200,1/300,NON		区分 E
								設計年月日	H27. 6 年度 H27		

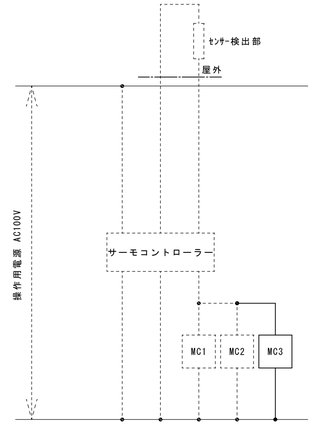


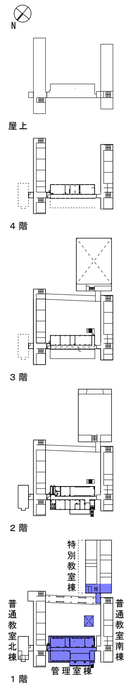


凍結防止ヒーター電源設備平面図 S=1/200



実線部を増設すること。
凍結防止ヒーター制御盤図 S=NON





は図面範囲を示す。

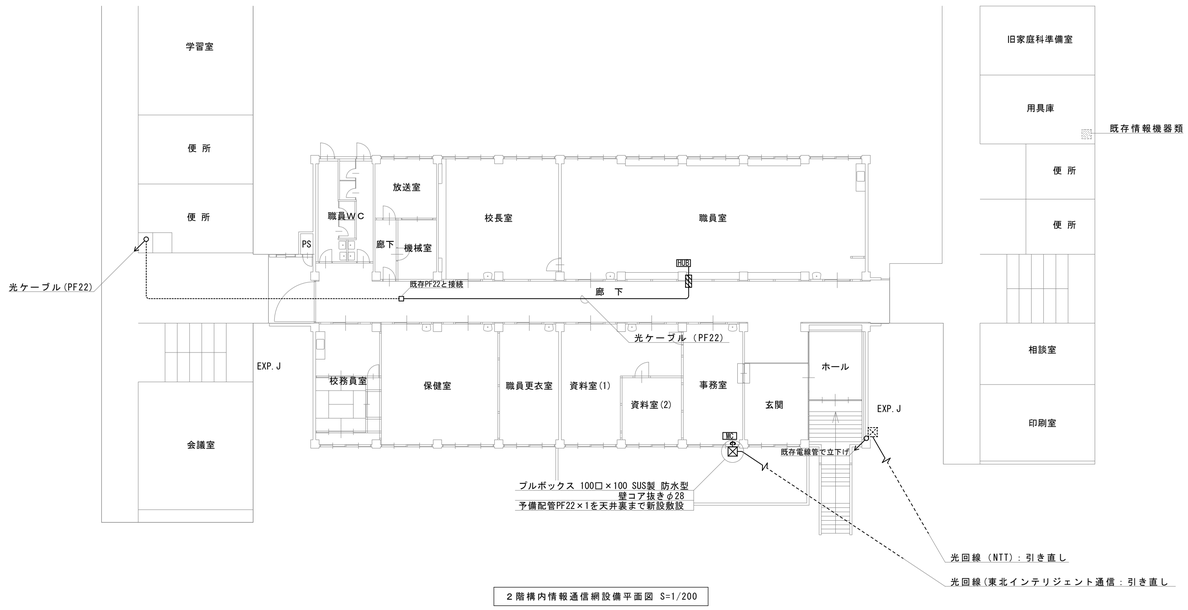
設備凡例

記　号	名　　称	備　　考
	既設ハンドホール H1-6	流用
	既設配線用ダクト・ラック H=3,800	流用
	既設プルボックス 600□×600×2個	流用
	既設ケーブルラック	流用
	防火区画貫通処理	新設
———	新設配管・配線	新設
–·–·–	新設埋設配管・配線	新設

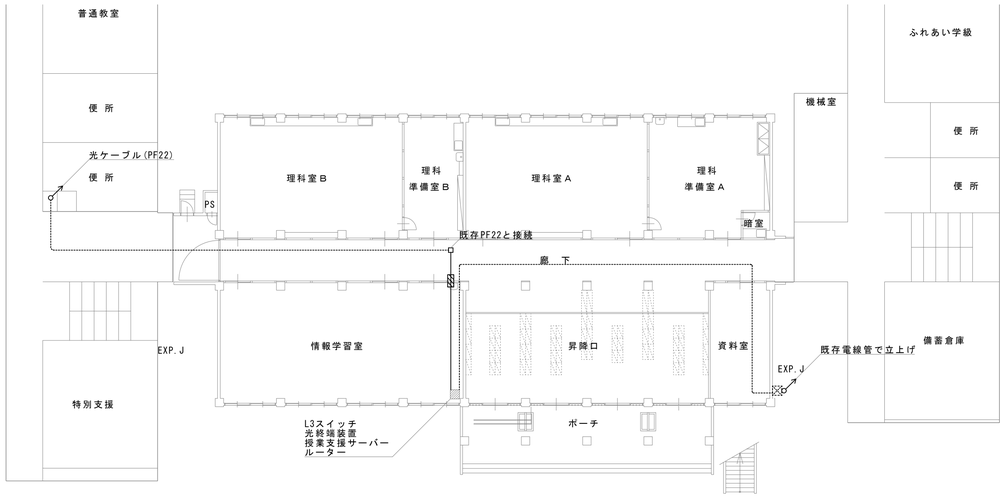
秋田市建設部建築課	件名	秋田市立秋田南中学校校舎南棟解体電気設備工事						種別	凍結防止ヒーター電源設備平面図 凍結防止ヒーター制御盤図		
	課長		参事		設計			縮尺	S=1/200,NON		
								設計年月日	H27. 6	年度	H27

特記
プルボックス（屋内鋼板製）は指定色塗装とする。

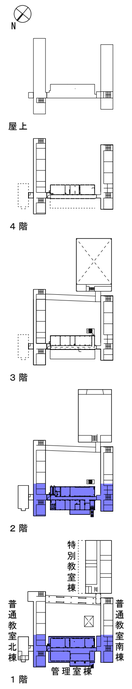
11	枚ノ内	図面番号	7
区分	E		



2階構内情報通信網設備平面図 S=1/200



1階構内情報通信網設備平面図 S=1/200



■は図面範囲を示す。

作業概要

○情報通信事業者に申請をおこない、下記の作業をおこなうこと。
○校舎南棟解体にともない電話回線の引込み位置を変更すること。
○行政情報ネットワーク用機器（メディアコンバーター）
　を２階用具庫から２階事務室へ移設すること。
○教育情報ネットワーク用機器は２階用具庫から１階情報学習室へ移設し、職員室
　へLANケーブルの引き込みをおこなうこと。

電気設備凡例

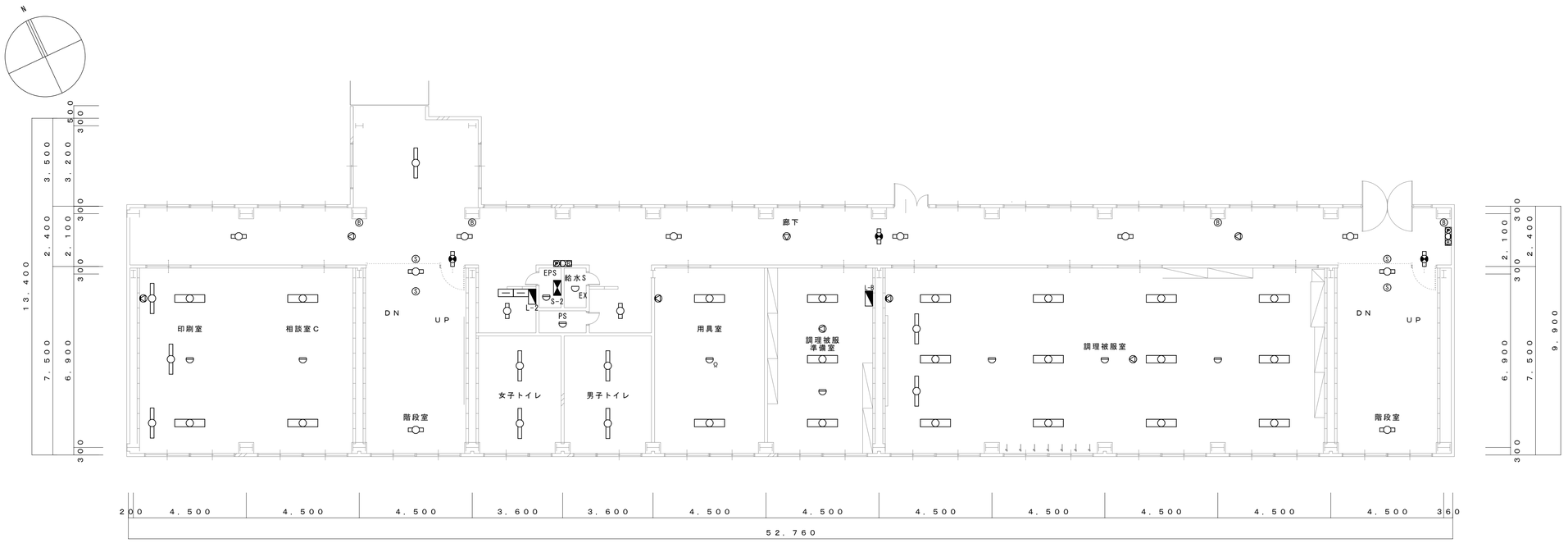
記　号	名　称	備　考
	既存情報機器類	図面位置へ移設
MC	既存メディアコンバーター	２階事務室へ移設
HUB	既存ハブ	存置
	その他情報機器類	情報学習室へ移設
	既存プルボックス	存置
	新設引き込み位置	
	防火区画貫通処理	新設
----------	既存配線（光ケーブル配線）	存置
————	新設配管（光ケーブル配線）	

秋田市建設部建築課	件名	秋田市立秋田南中学校校舎南棟解体電気設備工事						種別	１、２階構内情報通信網設備平面図		
	課長		参事		設計			縮尺	S=1/200		
								設計年月日	H27.6	年度	H27

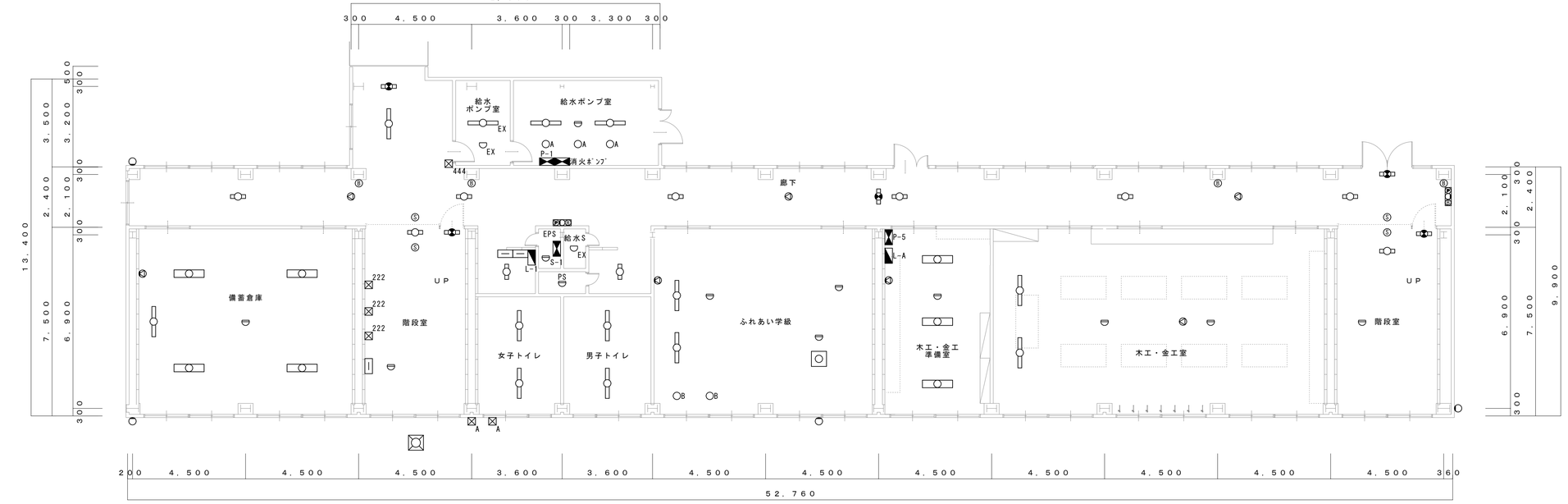
特記

11 枚ノ内　図面番号 8

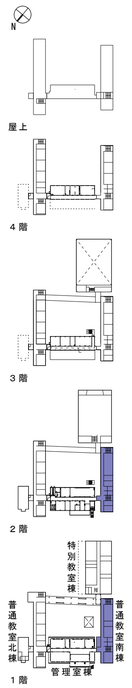
区分 E



南棟平面図（２階） S=1/100



南棟平面図（１階） S=1/100



工事概要
校舎南棟解体にともない、解体校舎内の電気設備を撤去するもの。
・図示されている電気設備をすべて撤去し、適切に廃棄処分すること。
・撤去した蛍光管（安定器有）はリサイクル処分すること。
・撤去した照明器具の安定器はPCBの有無を確認のうえ、PCBが含まれていた場合は監督員に報告すること。
・火災報知設備の撤去にともなう警戒区域図の改修を行うこと。

設備凡例

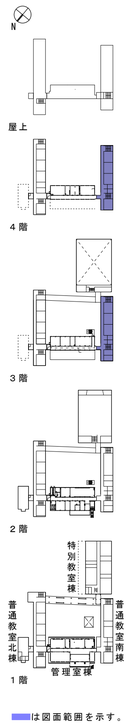
記　号	名　称	備　考
	動力盤	撤去・処分
	電灯盤	撤去・処分
	ハンドホール H1-6	撤去・処分
222	プルボックス 200□×200	撤去・処分
444	プルボックス 400□×400	撤去・処分
	照明器具 FL20W×1	撤去・処分
	照明器具 FL40W×1	撤去・処分
EX	照明器具 FL40W×1 防爆	撤去・処分
	照明器具 FL40W×2	撤去・処分
	照明器具 FL20×5	撤去・処分
	照明器具 外壁灯	撤去・処分
A	照明器具 凍結防止用遠赤ヒーター	撤去・処分
B	照明器具 ダウンライト	撤去・処分
	誘導灯	撤去・処分
	スピーカー	撤去・処分
	壁掛スピーカー	撤去・処分
EXP	総合盤	撤去・処分
	感知器　差動スポット型	撤去・処分
EX	感知器　差動スポット型　防爆	撤去・処分
Ω	終端抵抗	撤去・処分
S	感知器　煙　３種	撤去・処分
B	ベル	撤去・処分

秋田市建設部建築課

件名	秋田市立秋田南中学校校舎南棟解体電気設備工事	種別	南棟平面図（１・２階）	特記	11 枚／内　図面番号 9
課長 / 参事 / 設計		縮尺	S=1/100		
		設計年月日	H27. 6　年度　H27		区分 E

南棟平面図（４階） S=1/100

南棟平面図（３階） S=1/100

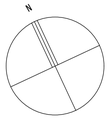


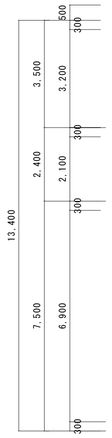
工事概要
校舎南棟解体にともない、解体校舎内の電気設備を撤去するもの。
・図示されている電気設備をすべて撤去し、適切に廃棄処分すること。
・撤去した蛍光管（安定器共）はリサイクル処分すること。
・撤去した照明器具の安定器はPCBの有無を確認のうえ、PCBが含まれていた場合は監督員に相談すること。
・火災報知設備の撤去にともなう警戒区域図の改修を行うこと。

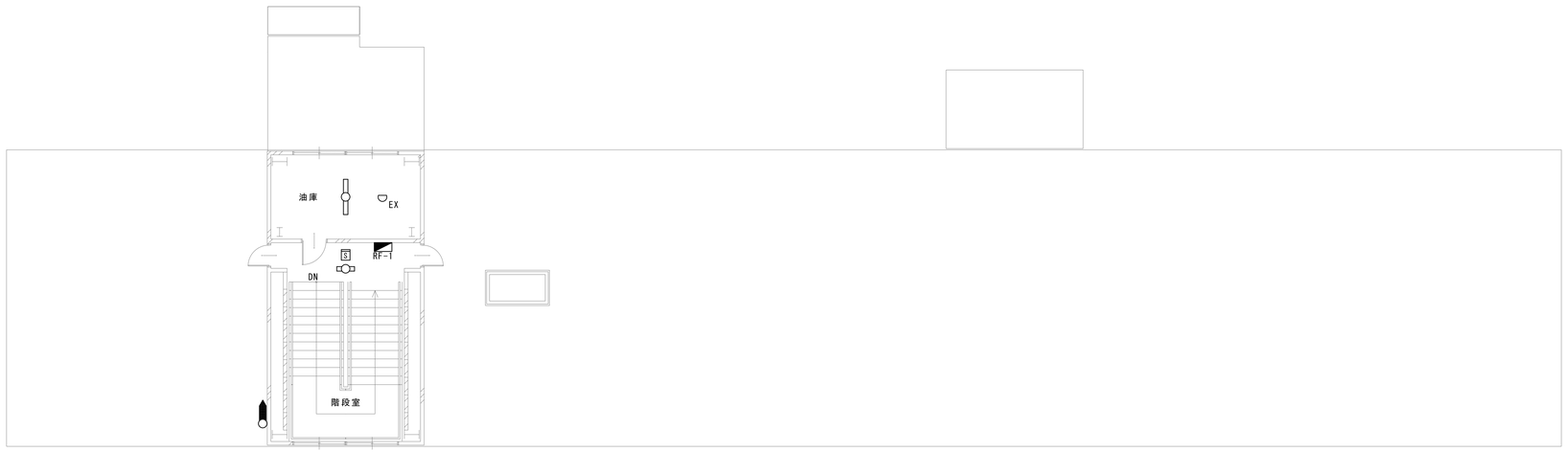
設備凡例

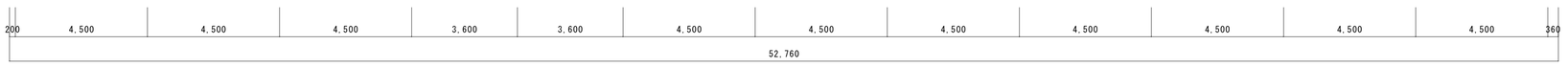
記　号	名　称	備　考
	動力盤	撤去・処分
	電灯盤	撤去・処分
	照明器具 FL20W×1	撤去・処分
	照明器具 FL40W×1	撤去・処分
	照明器具 FL40W×2	撤去・処分
	誘導灯	撤去・処分
	スピーカー	撤去・処分
	壁掛スピーカー	撤去・処分
P R M	総合盤	撤去・処分
	感知器　差動スポット型	撤去・処分
EX	感知器　定温スポット型　防爆	撤去・処分
Ω	終端抵抗	撤去・処分
S	感知器　煙　３種	撤去・処分
B	ベル	撤去・処分

秋田市建設部建築課	件名	秋田市立秋田南中学校校舎南棟解体電気設備工事							種別	南棟平面図（３・４階）				特記 ●図示されている電気設備を全て撤去し、適切に廃棄処分すること。 ●撤去した蛍光管（安定器共）はリサイクル処分とする。 ●照明器具の安定器はPCBの有無を確認の上、PCBが含まれていた場合は監督員に相談すること。 ●火災報知設備撤去に伴う警戒区域図の改修を行うこと。	11	図面番号 10
									縮尺	S=1/100										枚ノ内	
	課長		参事		設計				設計年月日	H27. 6	年度	H27								区分	E

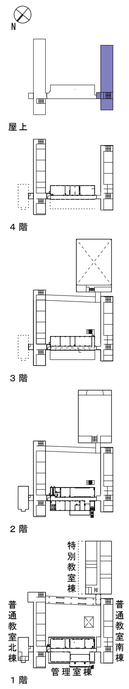








南棟平面図（PH階） S=1/100



■は図面範囲を示す。

工事概要
校舎南棟解体にともない、解体校舎内の電気設備を撤去するもの。
・図示されている電気設備をすべて撤去し、適切に廃棄処分すること。
・撤去した蛍光管（安定器共）はリサイクル処分すること。
・撤去した照明器具の安定器はPCBの有無を確認のうえ、PCBが含まれていた場合は監督員に相談すること。
・火災報知設備の撤去にともなう警戒区域図の改修を行うこと。

設備凡例

記　号	名　称	備　考
	電灯盤	撤去・処分
	照明器具 FL20W×1	撤去・処分
	照明器具 FL40W×1	撤去・処分
EX	感知器　定温スポット型　防爆	撤去・処分
S	感知器　煙　２種	撤去・処分
	避雷針	撤去・処分

秋田市建設部建築課

件名	秋田南中学校校舎南棟解体電気設備工事							種別	南棟平面図（PH階）		
課長		参事		設計				縮尺	S=1/100		
								設計年月日	H27. 6	年度	H27

特記
●図示されている電気設備を全て撤去し、適切に廃棄処分すること。
●撤去した蛍光管（安定器共）はリサイクル処分とする。
●照明器具の安定器はPCBの有無を確認の上、PCBが含まれていた場合は監督員に相談すること。
●火災報知設備撤去に伴う警戒区域図の改修を行うこと。

11 枚ノ内 図面番号 11

区分 E